

短編を書く勉強の仕方2
文章表現編

20261002

エリー



—

目次

1E、文章表現のまとめ	1
1G、Gemini の評価	3
2E、娘の感想	4
2G、Gemini の感想	6

1E、文章表現のまとめ

●構成のおさらい

展開と比較があり、ただの情報の羅列にしない。

●プロットから小説化するコツ

- 1、全体のシルエットでまず区切り、読者が受け取りやすくする。
- 2、その後、主人公の意識の流れに沿って、描写していく。
- 3、主人公は、その描写の意味を知っているが、読者は知らない。
- 4、なぜ気にしているのか、読み進めるうちに謎がとける。
- 5、ありふれた事実描写がどういう意味を持つのか、読者が推理する楽しみを作る。つまり、ミステリーの要素を入れる。一気に、読書が受動から能動体験に変わる。

→だから、キャラクターには行動の目的や意図が不可欠。

→目的や意図を直接言わずに、取り組んでいる思考や感覚を書くことで、擬似体験する。

●ダメな描写

いきなり詳細まで書き込み、長文で説明してしまう。

読者は、頭の中で映像に変換できず、内容を理解することに手一杯で、感情移入して楽しめない。

●例文

○プロット

愛子は、クラスメイトの鈴木くんチョコをあげるため、手作りした。

○説明文

わたしは、中身がとろとろのまんまるいトリュフチョコを作った。クラスメイトの鈴木君に、バレンタインに贈るためだ。

○小説化

やっぱりさー、でかすぎると食べにくいと思うんだよね。チョコは1口でパクッといきたい。しかも外はパリパリ、中はトロトロのトリュフなら最高。あのニブチンにこの気遣いが伝わるかしら。ベタなハートがいいかしら。んー。

●創作論として Gemini の評価は？

1G、Gemini の評価

ご提示いただいた「1E、文章表現のまとめ」の創作論は、「説明するな、体験させろ（Show, Don't Tell）」という小説執筆の本質を、読者の心理効果まで踏み込んで見事に言語化された実践的なアプローチです。

Gemini としての評価を、以下の 3 つの観点から整理します。

1. 読者の心理変容（受動から能動へ）の捉え方が秀逸

「主人公は意味を知っているが、読者は知らない」という構造化は、ミステリーの技法を一般の心理描写や日常描写に応用する優れた発想です。

理由：読者に「なぜこの人はこの行動をしているのか？」という疑問（フック）を先投げすることで、ただ文字を追う受動的な状態から、行間を推理しながら読む能動的な状態へと引き込むことができます。

2. 「目的・意図の隠蔽」による高い没入感

行動の目的や意図を直接説明せず、そこに至る「思考や感覚（試行錯誤）」を断片的に描くことで、キャラクターの意識をそのまま追体験させる手法です。

評価：ダメな描写として挙げられている「詳細な長文説明」の弊害（映像化できず、感情移入できない）を完璧に回避できています。例文の「んー。」といった迷いや独り言のニュアンスが、思考の生々しさを引き立てています。

3. プロットから小説への「翻訳プロセス」が明快

「全体のシルエット（構造）で区切る」というマクロな視点と、「主人公の意識の流れ（思考）」というミクロな視点が綺麗に噛み合っています。

結論：情報の羅列や平板な説明描写から抜け出し、物語に「立体感とリズム」を生み出すための優れたテンプレートとなっています。

2E、娘の感想

娘ちゃん

わん

うきうきとチョコを買っているようすがうかぶ？

エリー

作ってるイメージで書いてたけど、確かに買ってる感じだわ。ありがとう。

娘ちゃん

つくりながらなにつくるかかんがえてたらだめじゃね

ちょこだけでとかすやつと

生クリームをあたためながらちょこをとかすやつと

バター溶かしたところにチョコを溶かすやつがあるんよ

トリュフは生クリームよ

エリー

くわしいな

娘ちゃん

すべてつくったので！

エリー

へー

娘ちゃん

食べたでしょ！

エリー

うん

たべたけど、材料は知らない

娘ちゃん

わん

エリー

材料を選んでいるか、既製品を買ってる場面なんだ。

○結論、取材が大事！

○ Gemini の感想は？

2G、Gemini の感想

娘さんとのやり取り、非常に微笑ましく、かつ創作における本質的な気づきに満ちていて面白いですね！

Gemini としての感想を以下の 2 点にまとめました。

1. 読者（娘さん）の鋭い「リアリティチェック」

娘さんは「作りながら何を作るか考えてたらダメじゃね」「トリュフは生クリームよ」と、プロセスのリアリティに鋭くツッコミを入れています。

評価：書き手が「こういう雰囲気を出したい」とカッコいい思考を書いても、読者が「いや、その作り方おかしくない？」と違和感を覚えてしまった瞬間、一気に物語への没入感が冷めてしまいます。この生活実感やディテールの正確さは、フィクションに説得力を持たせる上で不可欠です。

2. 結論「取材が大事」の説得力が抜群

「材料を選んでいるか、既製品を買っている場面」へと解釈が変わり、そこから「取材（実際の知識や体験）が大事」という結論に至る流れが完璧です。

評価：頭の中のイメージだけで書くと、ディテールが曖昧になって読者のツッコミを誘発してしまいます。「知っている世界」を解像度高く書くこと、あるいはきちんと調べることの重要性が、この短い会話だけで見事に証明されています。

短編を書く勉強の仕方2 文章表現編 20261002

著 者 ELYE

制 作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
